

SFJBD 日仏図書館情報学会

Société franco-japonaise des bibliothécaires et des documentalistes

講演会

書物の文化への特異な貢献

—パーマナント・ペーパーの創始者たち—

ウィリアム・バローは良く知られた米国の保存修復家だが、なかでも近代書籍用紙の短命は酸が原因と確証したこと、そしてそれに基づきパーマナント・ペーパー（永く残る紙）を開発したことが彼の名を不朽にした。

そのバローを支援し、彼の業績をいわば社会化したのがヴァーナー・クラブ（図書館振興財団初代理事長）である。クラブは米国図書館界のダ・ヴィンチと言われたほど多彩に活躍した図書館人。バローとクラブの二人三脚の動きが図書館を動かした。

しかし二人のパーマナント・ペーパー普及の企ては進捗せず、挫折した。後、その企てを引き継ぎ、実を結ばせたのはワレン・ハース（図書館振興財団第3代理事長）。ハースはパーマナント・ペーパー規格の策定、映画「スロー・ファイア（緩慢な火災）」の制作など、アメリカのみならず世界の図書館を鼓舞する指導力を発揮した。

上記三人の優れた尽力がなければ、私達、書物に関わる者は今も、短命の酸性紙に起因する「緩慢な火災」に見舞われ、脅かされていることだろう。書物の文化に対する彼らの稀有の貢献を紹介したい。

講師： 安江 明夫氏 [元国立国会図書館副館長、学習院大学大学院アーカイブズ学専攻非常勤講師]

日時： 2011年5月28日（土）
15:30～

場所： 日本図書館協会研修室（2階）
〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14
東京メトロ茅場町駅下車徒歩5分

入場無料

お問い合わせ：日仏図書館情報学会

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

日仏会館内 fax:03-5421-7653

照会：我妻 E-mail: mafemme2@gmail.com

伊藤 E-mail: yagisanyubin@yahoo.co.jp

ご案内図 会場にご留意ください

